

# TOSHIBA

## 東芝壁掛形非常放送アンプ取扱説明書

AWF-1000Dシリーズ

AWH- 610D

60W 10回線

AWH-1210D

120W 10回線

AWH-1215D

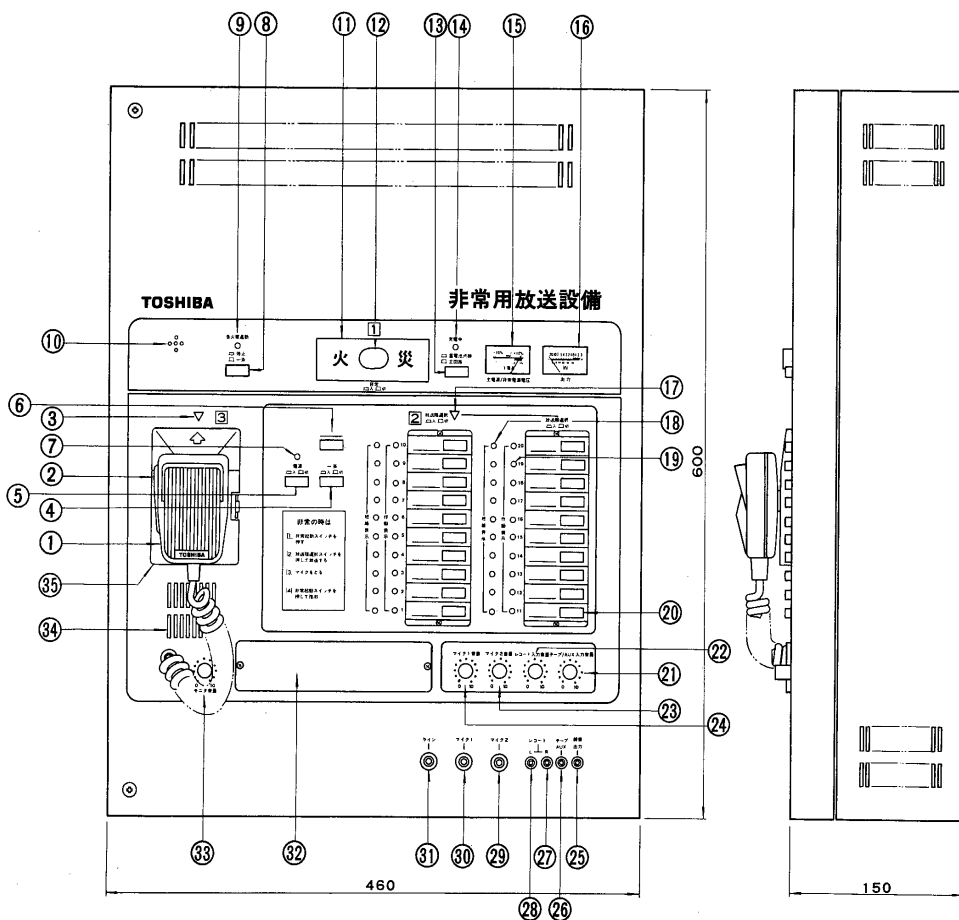
120W 15回線

AWH-2420D

240W 20回線

このたびは東芝壁掛形非常放送アンプをお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。  
お求めの壁掛形非常放送アンプを正しく使っていただくために、この取扱説明書をよくお読みください。

### 各部のなまえ



図は20回線です。

- ① 非常用マイク (業務兼用)
- ② マイク放送スイッチ
- ③ マイク指示灯
- ④ 非常一斉放送スイッチ (業務兼用)
- ⑤ 電源スイッチ
- ⑥ ICチャイムスイッチ
- ⑦ 電源表示灯
- ⑧ 自火報連動停止スイッチ
- ⑨ 自火報連動停止注意灯
- ⑩ ブザー
- ⑪ 火災灯
- ⑫ 非常起動スイッチ

- ⑬ 蓄電池点検装置
- ⑭ 充電中表示灯
- ⑮ 主回路/非常電源電圧計
- ⑯ 放送出力レベル計
- ⑰ 階別選択指示灯
- ⑱ 短絡表示灯
- ⑲ 階別作動表示灯
- ⑳ 非常放送階選択スイッチ (業務兼用)
- ㉑ テープ/AUX音量調節つまみ
- ㉒ レコード入力音量調節つまみ
- ㉓ マイク2音量調節つまみ
- ㉔ マイク1音量調節つまみ

- ㉕ 録音出力ジャック
- ㉖ テープ/AUX入力ジャック
- ㉗ レコード入力ジャック(R ch)
- ㉘ レコード入力ジャック(L ch)
- ㉙ マイク2入力ジャック
- ㉚ マイク1入力ジャック
- ㉛ ライン入力ジャック
- ㉜ ブランクパネル
- ㉝ モニタ音量調節つまみ
- ㉞ モニタ用スピーカ
- ㉟ マイクドア

### 工事店様へ

工事が終了しましたら、この説明書は必ずお客様へお渡しください。

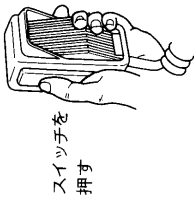
## 各部の操作のしかた

### ③ マイク指示灯

- 非常時点滅し操作手順を知らせます。
- マイク放送をしているときは点灯にかわりません。

### ① 非常・業務兼用マイクロホン

- スイッチを押しながら放送してください。



### ⑤ 電源スイッチ

#### ⑦ 電源表示灯

- 業務放送するときに、電源スイッチを押して「入」にします。
- 電源スイッチを押して「入」にしますと電源表示灯が点灯し電源が入ります。
- スイッチはロック式で電源が入ります後は再びスイッチを押して戻します。

電源  
口入 口切

### ⑥ ICチャイムスイッチ

- 放送前の予告音としてご使用になれます。
- 別売のICチャイムユニット(CH-2, ACU-4020A)を組み込むことができます。

### ④ 一斉放送スイッチ

- 一斉放送するときは一斉放送スイッチを押します。スイッチはロック式ですから放送終了後は再びスイッチを押して戻します。

一斉  
口入 口切

※ 3線式スピーカー配線の場合  
アッテネータ付スピーカーをご使用のとき、アッテネータが「OFF」の状態でも放送できます。

### ③⑤ マイクドア

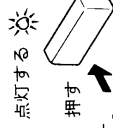
【注意】

- マイクドアは開けられません。

### ⑧ 自火報連動停止スイッチ

#### ⑨ 自火報連動停止注意灯

- 自火報連動停止スイッチを押すと自火報連動停止注意灯が点灯します。
- 再び自火報連動停止スイッチを押して戻すと自火報連動停止注意灯は消えます。
- 自火報連動停止注意灯が点灯中は自火報との連動はできません。
- 自火報連動停止注意灯が点灯していないときは連動一斉状態となります。



### ⑪ 火災灯

- 自火報からの起動信号により火災灯は連動一斉………点灯  
連動停止………点灯  
します。

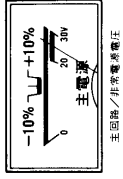
### ⑫ 非常起動スイッチ

- 手動または自火報連動停止時で非常放送するとき、非常起動スイッチを押します。
- スイッチはロック式ですから再びスイッチを押して戻すと非常放送が復旧します。

### ⑬ 蓄電池点検装置

#### ⑭ 充電中表示灯

#### ⑮ 主回路/非常電源電圧計



指針が20~30V線の  
上盛のほぼ中央から  
上盛までの間に振れ  
れば充電は完了です。

点検  
主回路

押し蓄電池点検します

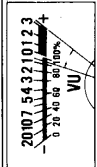
### ⑯ 放送出力レベル計

- スピーカからの出力レベルを表示します。
- メータの指針のふれが「最適出力」となるよう音量調節ツマミで調節してください。

○

×

×



### ⑰ 階別選択指示灯

- 非常放送時に点灯（連動一斉、連動停止）または点滅（手動）します。
- 階別選択指示灯が点滅しているとき、階別選択スイッチを押すと点灯にかわります。

### ⑱ 短絡表示灯

- スピーカ回線が短絡するとスピーカ回線短絡保護ヒューズが切れます。
- ヒューズが切れた状態でサイレン放送又はアナウンス放送すると、音の大小に同期して短絡表示灯は点灯又は点滅します。

### ⑲ 作動表示灯

- 階別選択スイッチ等を押すと点灯します。

### ⑳ 階別選択スイッチ

- 放送したい回線の階別選択スイッチを押します。このとき、押された回線の階別作動表示灯が点灯します。
- スイッチはロック式ですから放送終了後は再びスイッチを押して戻します。

放送階選択  
口入 口切

### ㉑㉒㉓㉔ 入力音量調節ツマミ

- 放送出力レベル計により、各入力音量を調節します。

### ㉕ ブランクパネル

- 各種ユニットを組み込むことができます。
- |                  |             |
|------------------|-------------|
| AMラジオオチューユニット    | ARU-2100 A  |
| AM・FMラジオオチューユニット | ARU-2100 AF |
| 自動放送ユニット         | AAU-1000    |

### ㉖ モニタ音量調節ツマミ

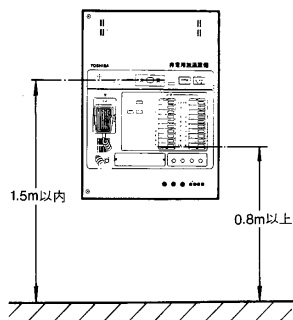
- モニタスピーカの音量調節ができます。
- 非常・業務兼用マイクロホンのスイッチが押されると、モニタスピーカからの音量が低下しますのでハウリングがおこりません。

## 特にご注意を

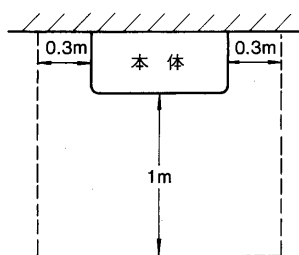
- 必ずアースを取り付けてご使用ください。
- 感電事故防止のためアース端子と大地間のアースを必ずとってください。ガス管にアースしますと危険ですから絶対におやめください。
- 通風のよい場所に設置してください。
- 湿度の高い所や温度の高い所での使用は避けてください。またアンプの通風孔をふさぐようなことはおやめください。また、操作の妨げにならないよう左右0.3m以内、操作面1m以内には物を置かないでください。
- アンプの改造は絶対にしないでください。
- 電気用品取締法、消防法にふれることがありますので改造は絶対におやめください。
- ヒューズは▽マークの指定容量のものとお交換してください。
- 針金や銅線をヒューズのかわりに使用しないでください。また交換するヒューズは指定容量のものを必ずご使用ください。
- なおヒューズの交換は、お買いあげの販売店か、お近くの東芝お客様ご相談センターに、ご依頼ください。
- 分電盤のスイッチは絶対に切らないでください。
- 停電時でも放送できるよう非常電源が組み込まれており、常に充電していますので分電盤のスイッチは絶対に切らないようにしてください。
- 異物は感電や故障の原因となります。
- 機器内にピンなどの金属物が入った場合、故障、感電、火災などの原因になり大変危険です。万一金属物が入ったときはすぐにお買いあげの販売店か、お近くの東芝お客様ご相談センターにご連絡ください。
- スピーカへの配線とアンプの入力線（マイクロホンコードなど）は同一配管で布線しないでください。発振の原因となります。
- 汚れを落とすときは、中性洗剤（台所用）をご使用ください。シンナーやベンジン、または化学ぞうきんなどを使用しますと変形、変色することがありますので絶対に使用しないでください。

## 設置上のご注意

- 本機は重量が約 30 kg ありますので、しっかりした壁（コンクリートなど）に取り付けてください。
- 通風のよいホコリの少ないところに設置してください。
- 温度の高いところ（直射日光のさしこむ窓、ストーブなどの暖房機器の近く）や湿気の多いところ（水道の蛇口の近く、厨房など）には設置しないでください。
- 取付け高さは床面から非常起動スイッチまでが0.8m～1.5mです。
- 設置場所については消防法で、次のように規定されています。



- 操作の妨げにならないよう下図の範囲内に障害物等を置かないでください。



- 本機は自火報受信機または副受信機と同一室内に設置してください。（併設）
- ひとつの階を複数回線に振り分けることはできません。放送系統は階別となります。

①増幅器及び操作部は守衛室等常時人がいる場所（中央管理室が設けられている場合には当該中央管理室）に設けること。  
—消防法施行規則第25条の2の3のルー

②増幅器、操作部及び遠隔操作器は点検に便利かつ、防火上有効な措置を講じた位置に設けること。  
—消防法施行規則第25条の2の3のトー

③操作部の操作スイッチは、床面からの高さが0.8メートル以上1.5メートル以下の箇所に設けること。  
—消防法施行規則第25条の2の3の二

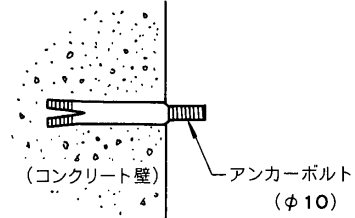
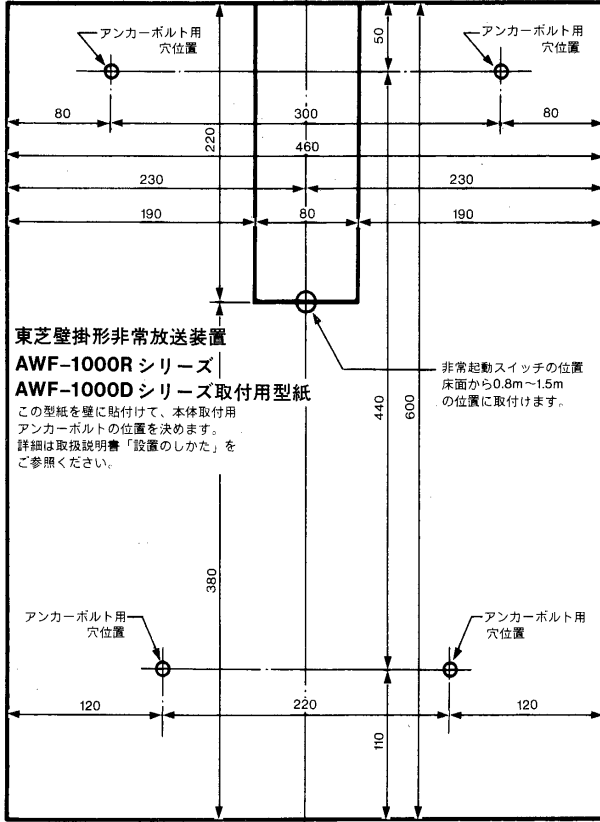
④一の防火対象物に二以上の操作部が設けられているときは、これらの操作部のある場所相互で同時に通話することができる設備を設けており、かつ、いずれの操作部からも当該防火対象物の全区域に火災を報知することができるものであること。  
—消防法施行規則第25条の2の3のラー

## 設置のしかた

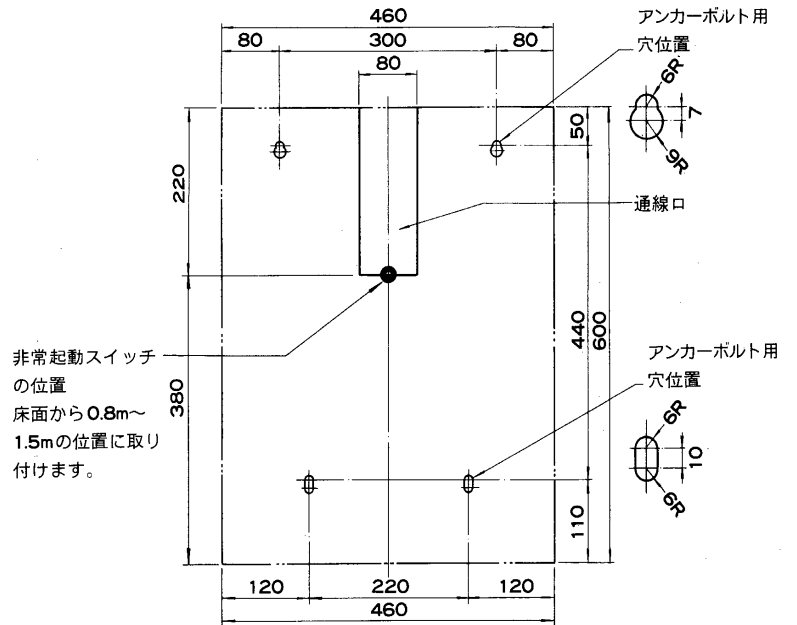
### ■ 取付位置の決定

① 付属の取付用型紙を、非常起動スイッチの位置が床面から0.8m～1.5mの所にくるように、壁に貼付けます。

② 取付用型紙の「アンカーボルト用穴位置」に合わせて4ヶ所にアンカーボルトを打ち込みます。



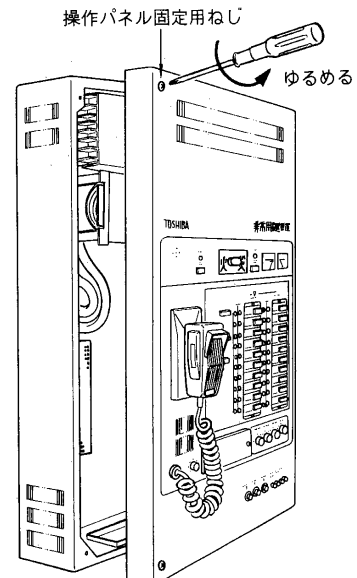
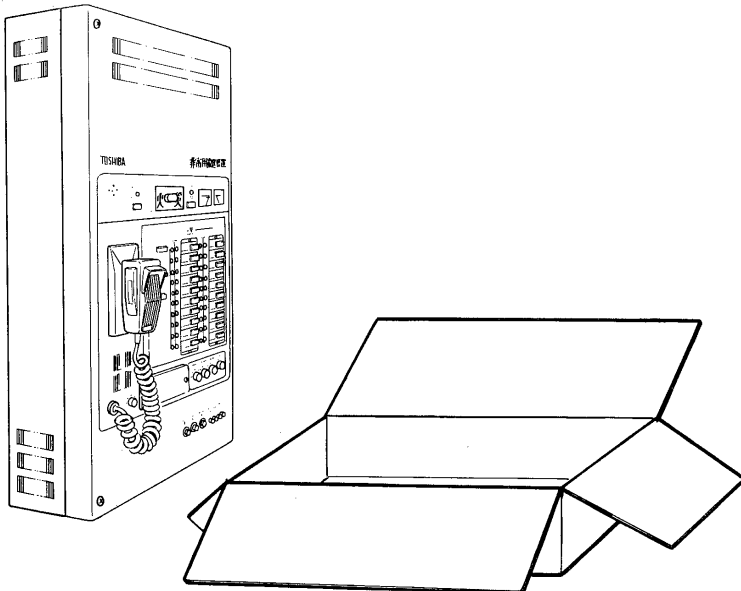
取付寸法図



### ■ 設置のしかた

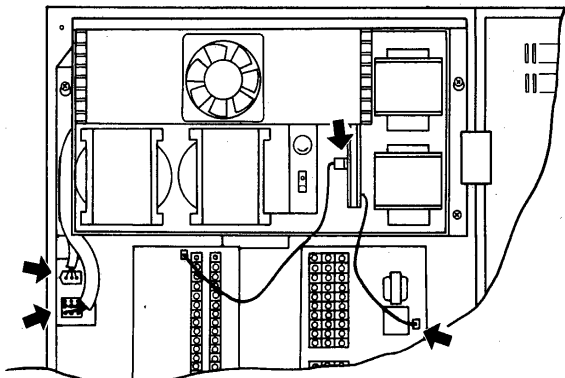
① 梱包箱から本体を取り出します。付属品予備品など、失くさないよう注意してください。

② 操作パネルを固定しているねじ2本をゆるめ、操作パネルを開けます。



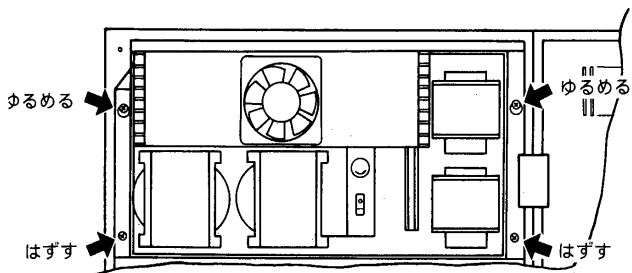
# TOSHIBA

③本体と電力増幅ユニットを接続している4ヶ所のコネクタをはずします。

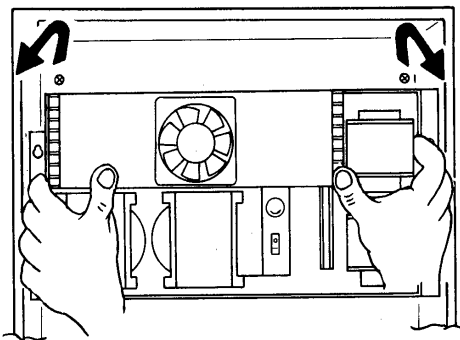


図はAWH-2420Dです。

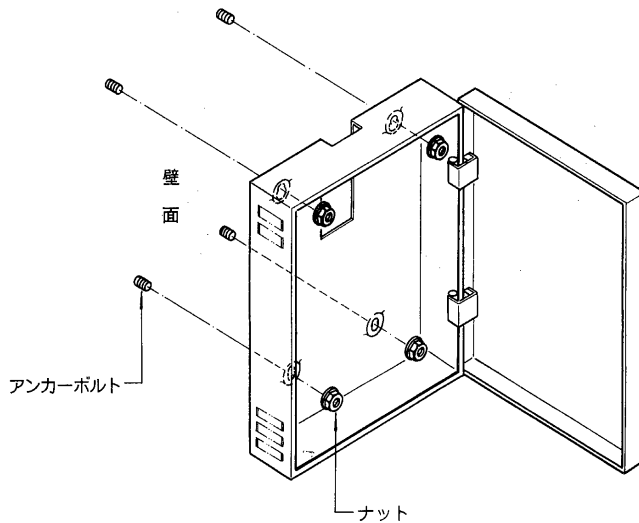
④電力増幅ユニットを固定している上側の2本のねじをゆるめ、下側の2本のねじをはずします。



⑤電力増幅ユニットを本体からはずします。

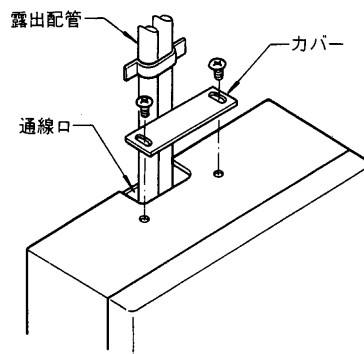
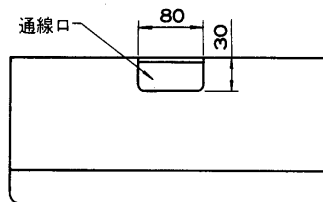


⑥壁面に打ち込んだアンカーボルトに本体の4ヶ所の取付穴を通し、ナットで固定します。



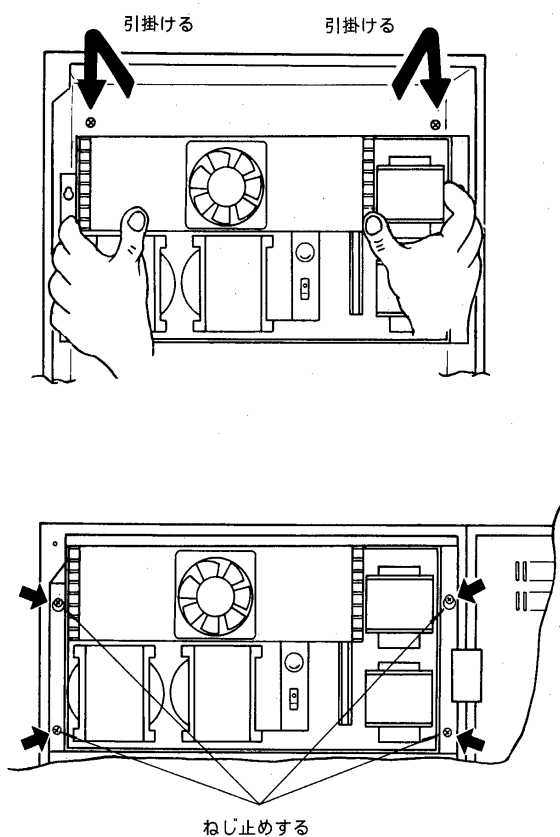
⑦電源、スピーカ、外部機器の接続をします。(詳細は“接続のしかた”を参照ください。)

- 露出配管のときは、本体上部の通線口から、金属などの異物が入らないようにカバーをねじてしめてください。

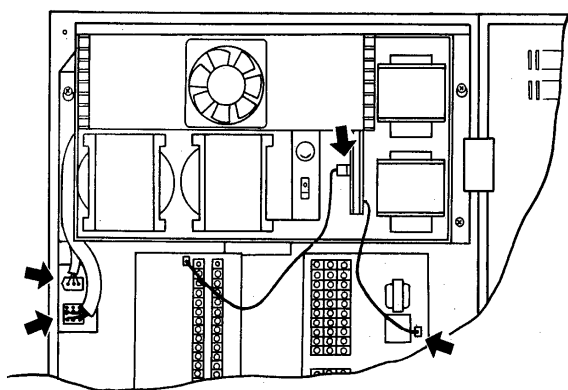


2本のねじをゆるめ、カバーをスライドさせます。

- ⑧電力増幅ユニットを本体の2ヶ所のねじに引掛けて固定し、4ヶ所でねじ止めします。

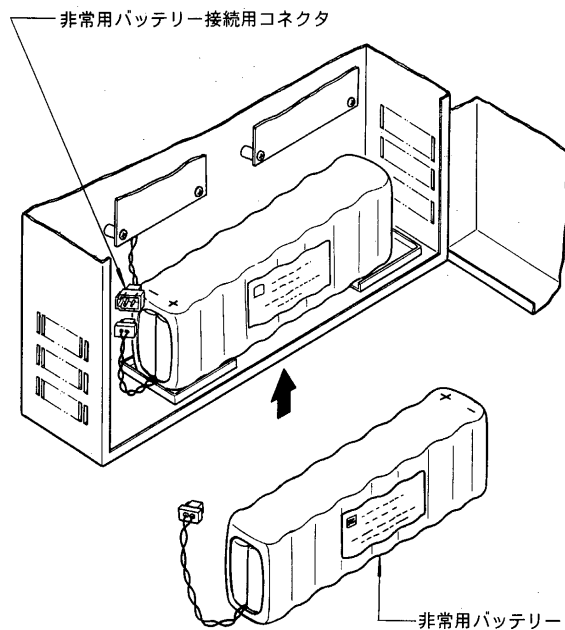


- ⑨電力増幅ユニットの4本のコネクタを接続します。



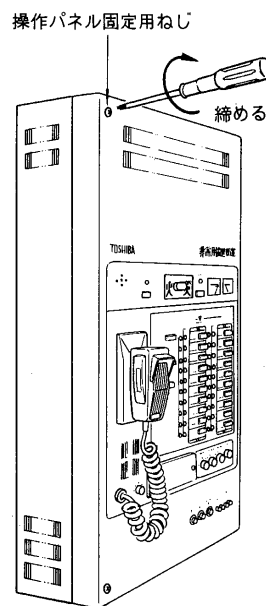
- ⑩非常用バッテリーを取付けます。

- 非常用バッテリー（別売）は、収納部に図のように収納しコネクタを確実に接続してください。極性をまちがえたり、ショートさせますと、バッテリーや部品を破損することがありますからご注意ください。



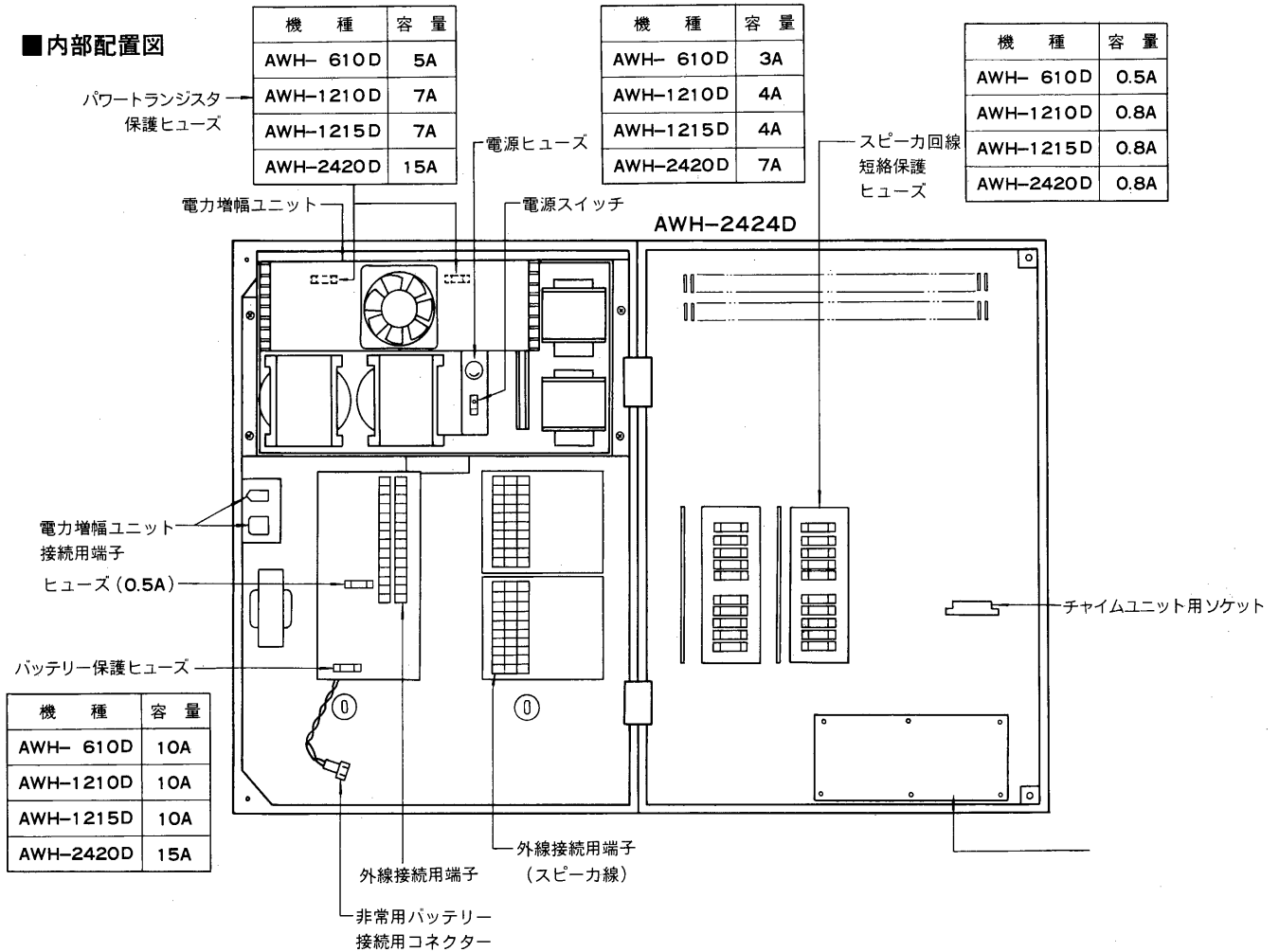
- 非常用バッテリーはお買い上げのときまたは、試験放送などでお使いになった場合には必ず充電をおこなってください。充電は試験放送などでバッテリーを10分程度使用した場合、48時間程度で完了します。

- ⑪操作パネルを閉め、操作パネル固定用ねじで固定します。



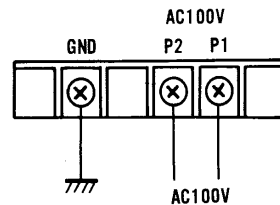
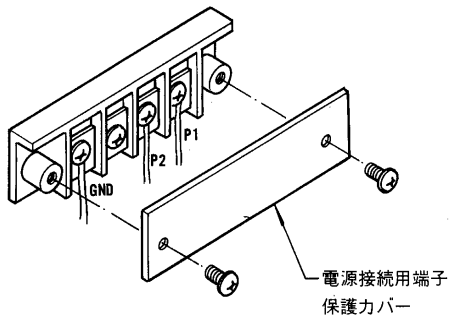
## 接続のしかた

### ■内部配置図



### ■電源接続用端子の接続

- 電源接続用端子保護カバーをはずし、電源線を接続します。



#### ご注意

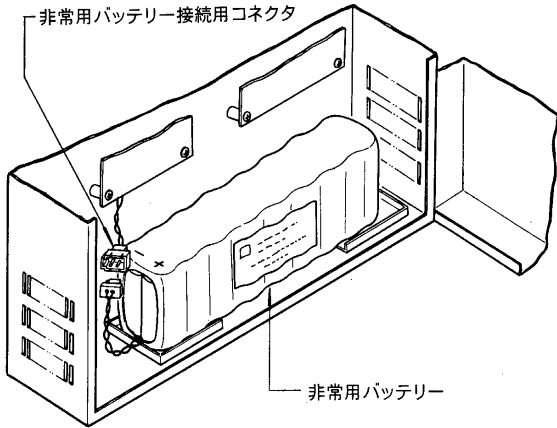
- 接続の際には、必ず分電盤のスイッチを「切」にしてください。
- 本機には電源ケーブルは付属させておりません。

### ■非常用バッテリーの接続

- お求めの東芝壁掛形非常放送アンプには別売の非常用バッテリーが必要です。形名により適合する非常用バッテリーをお求めください。

形名	適合非常用バッテリー形名	電圧	容量	充電電流
AWH- 610D	NBT-2000	DC 24V	1.65 Ah/5HR	50mA以下
AWH-1210D	NBT-3000	DC 24V	3.5 Ah/5HR	117mA以下
AWH-1215D	NBT-3000	DC 24V	3.5 Ah/5HR	117mA以下
AWH-2420D	NBT-4000	DC 24V	6.0 Ah/5HR	166mA以下

- 本体からのコネクタと接続します。



### ご注意

- 非常用バッテリーの標準寿命は4年です。非常時に機器を正しく動作させるために交換時期を守ってください。

### ■ スピーカの接続

- このアンプはライン電圧100V ハイ・インピーダンススピーカ専用です。ロー・インピーダンススピーカやライン電圧の異なるものは接続できません。
- 消防法では各階別3線式配線（音量調節器を設けない場合は2線式配線）となっています。
- アンプとスピーカ間の延長可能距離

機種	線径 (mm)	線径 (mm)					
		φ0.9	φ1.0	φ1.2	φ1.6	φ2.0	φ2.6
AWH-610D		290m	360m	560m	1 km	1.5 km	2.6 km
AWH-1210D		145m	180m	280m	500m	770m	1.3 km
AWH-1215D		145m	180m	280m	500m	770m	1.3 km
AWH-2420D		70m	90m	140m	250m	380m	650m

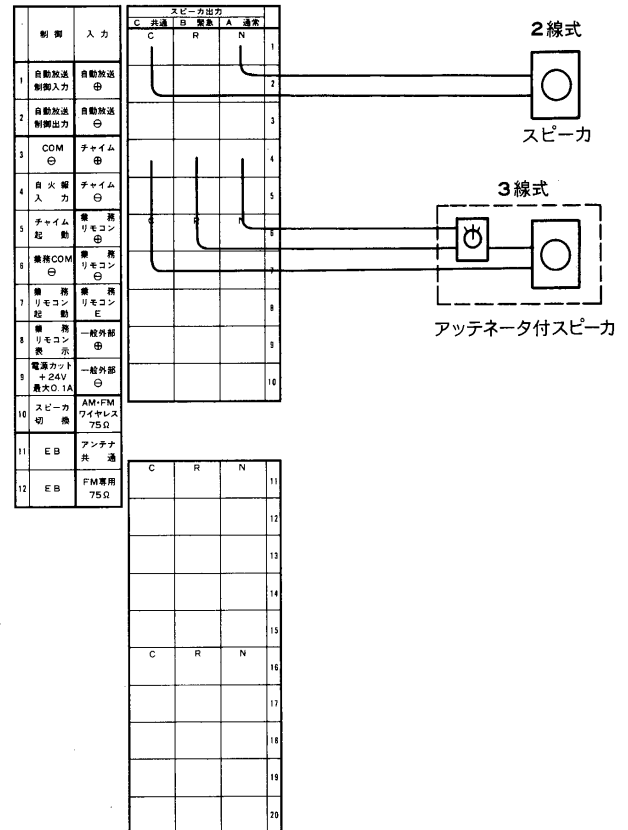
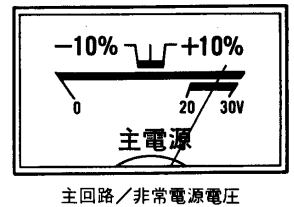
- 線路抵抗(ループ)がアンプの負荷インピーダンスの10%になる距離のめやすです。

- 使用できるスピーカの最大W数は下記の通りです。

電力増幅ユニット出力	1回線当りの最大W数
60W	50W
120W	70W
240W	70W

- 充電装置は自動充電方式になっております。充電は試験放送などでバッテリーを10分程度使用した場合、48時間程度で完了します。
- バッテリーチェックスイッチでチェックしてください。非常電源電圧計の指針が20~30V線の目盛のほぼ中央から上限までの間に振れることを確認してください。この範囲内に振れないときは、すぐに交換してください。
- バッテリーチェックは1回5秒以内としてください。

充電中は点灯します



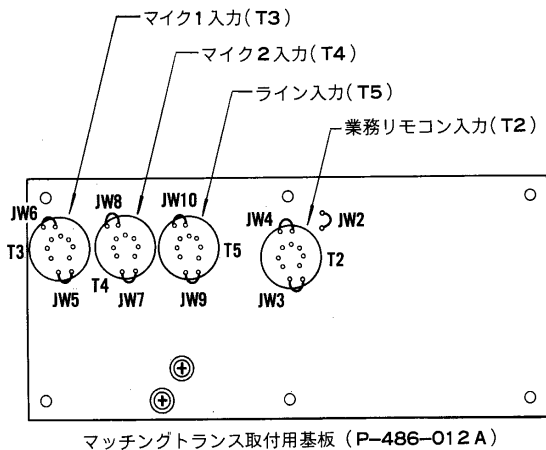
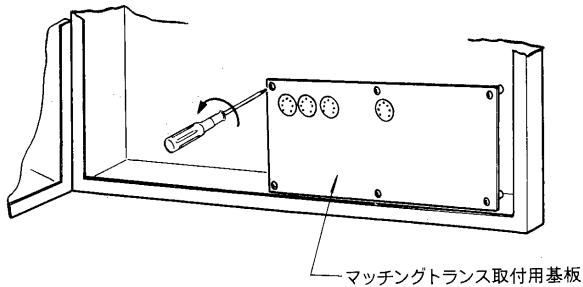


## ■マイクロホンの接続

- 操作パネル右下のマイクロホンジャックに接続します。
- 本機のマイク1入力、マイク2入力は不平衡形になっています。

マイクコードを延長させて使用するときは、別売のマッチングトランス（形名：FB-1342）により入力回路を、平衡回路にしてください。

- ①マッチングトランス取付用基板(基板番号P-486-012A)を止めているねじ6ヶ所をはずします。



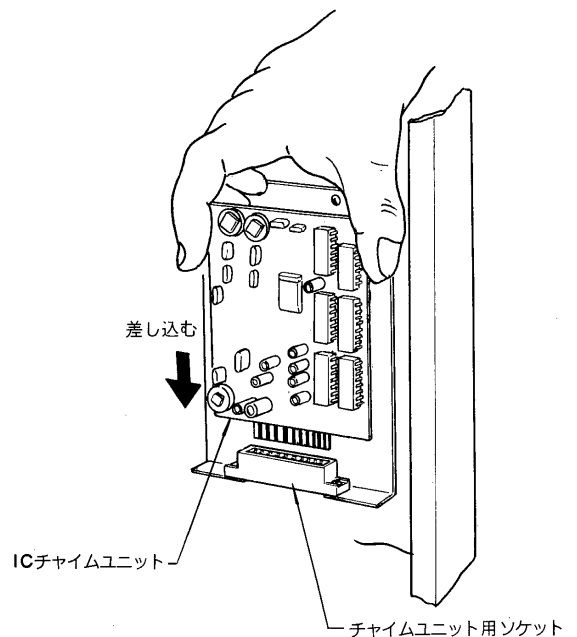
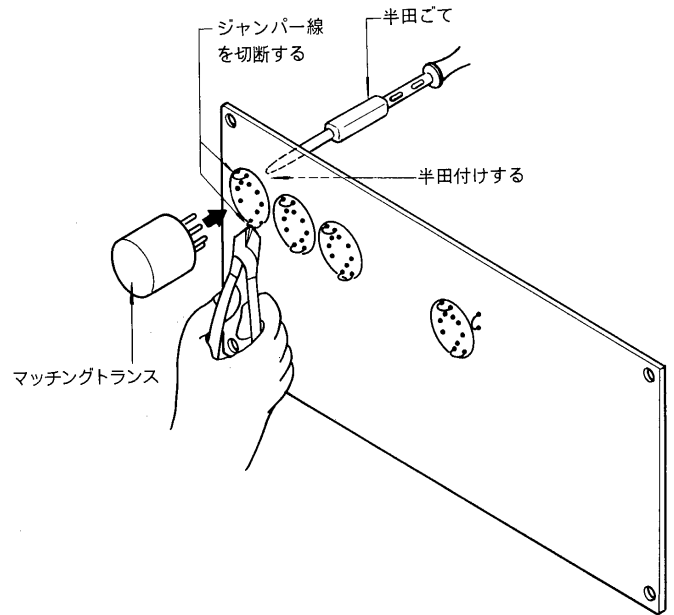
- 本機のライン入力は不平衡形になっています。ライン入力を平衡回路にするときはマイク入力と同様に変更してください。

## ■ICチャイムユニットの接続

- ICチャイムユニット(CH-2, ACU-4020A)の接続
  - 別売のICチャイムユニット(CH-2, ACU-4020A)を内部のチャイム用ソケットにしっかり差し込んでください。
  - パネル前面のチャイムスイッチを押しますとコールチャイムとしてご使用いただけます。ICチャイムに付属のシール「ICチャイム」をスイッチの下にはりつけてご使用ください。

**ご注意** ユニットの方向にご注意ください。

- ②別売のマッチングトランス（形名：FB-1342）を図のように基板に差し込み、半田付けをした後、部品面側のジャンパー線2本(JW5, JW6)をニッパー等で切断してください。

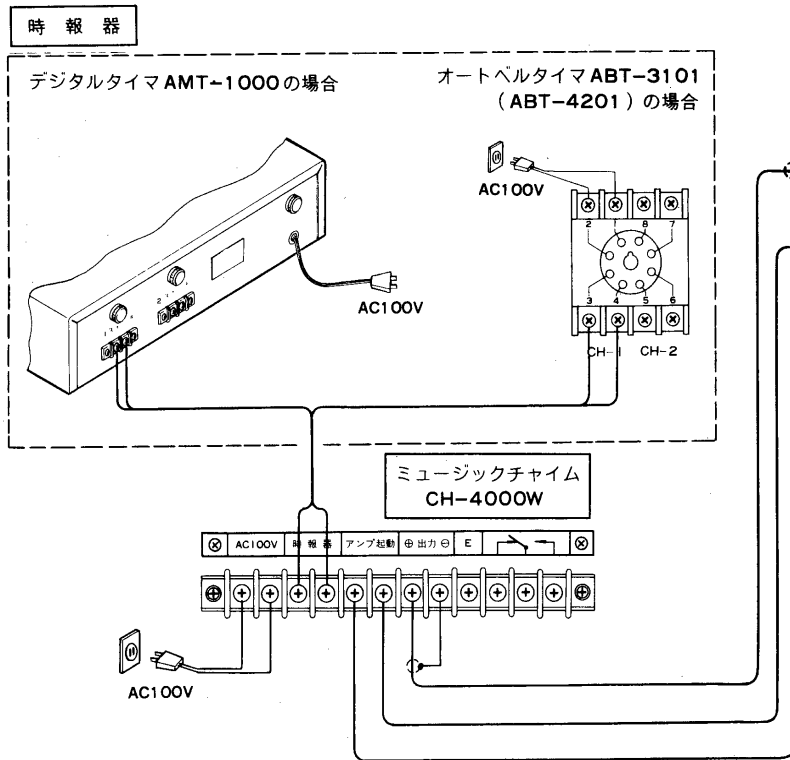


# TOSHIBA

## ■時報チャイムの接続

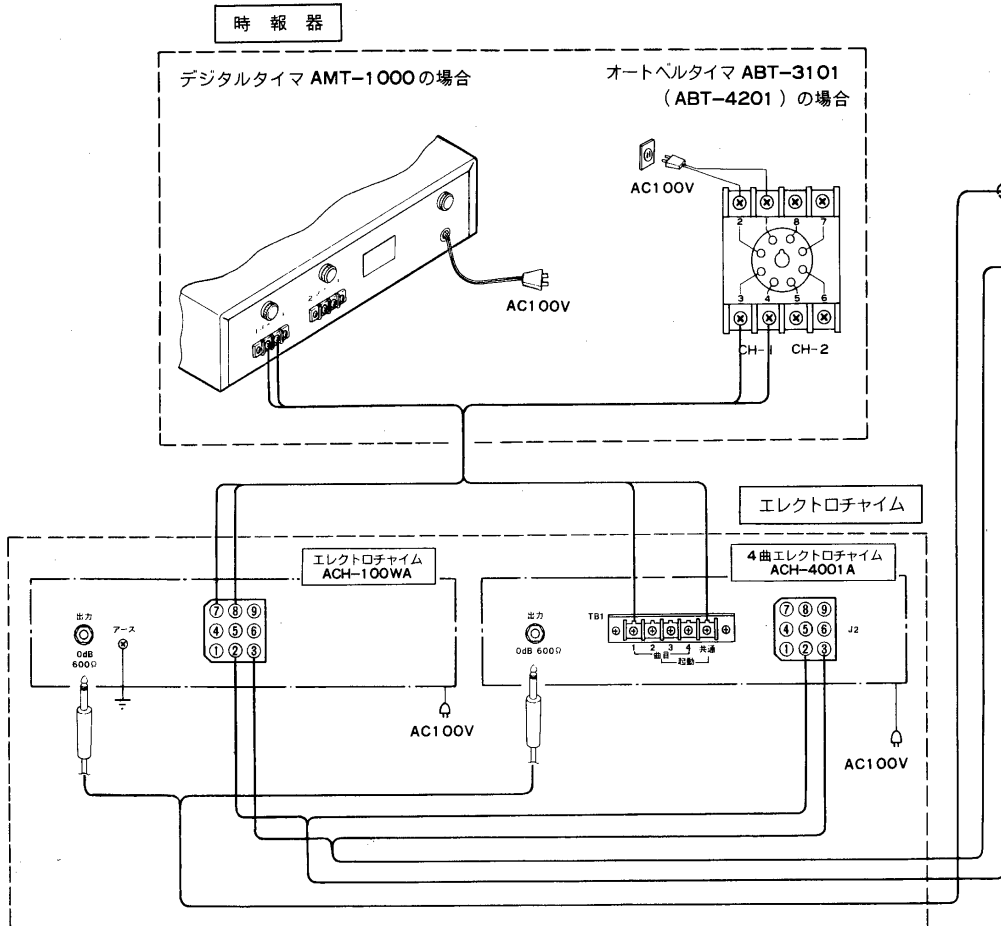
●ミュージックチャイムとオートベルタイマー、プログラムタイマーを接続しますと時報チャイムの自動放送ができます。

### タイマーとミュージックチャイム (CH-4000W) との接続方法



制御	入力	スピーカ出力			
		C 共通	B 黄色	A 赤	共通
1	自動放送制御入力				1
2	自動放送制御出力				2
3	COM				3
4	チャイム				4
5	自火線入力				5
6	チャイム起動	C	R	N	6
7	接続COM				7
8	リモコン起動				8
9	リモコン表示				9
10	電源カット+24V最大0.1A				10
11	スピーカ切換				11
12	AM-FMワイヤレス75Ω				12
	アンテナ共通				13
	FM専用75Ω				14
					15
					16
					17
					18
					19
					20

### タイマーとエレクトロチャイムとの接続方法

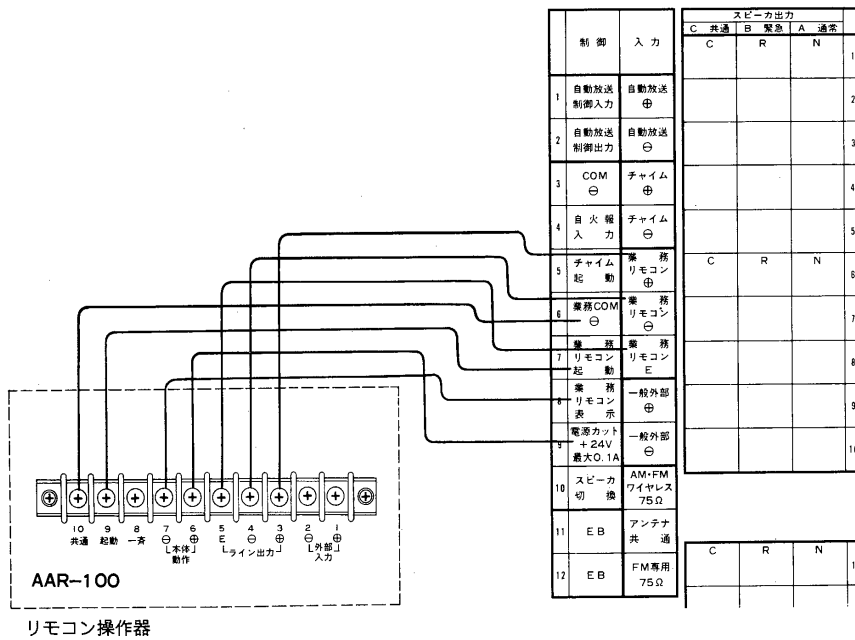


制御	入力	スピーカ出力			
		C 共通	B 黄色	A 赤	共通
1	自動放送制御入力				1
2	自動放送制御出力				2
3	COM				3
4	チャイム				4
5	自火線入力				5
6	チャイム起動	C	R	N	6
7	接続COM				7
8	リモコン起動				8
9	リモコン表示				9
10	電源カット+24V最大0.1A				10
11	スピーカ切換				11
12	AM-FMワイヤレス75Ω				12
	アンテナ共通				13
	FM専用75Ω				14
					15
					16
					17
					18
					19
					20

# TOSHIBA

## ■業務専用リモコン操作器の接続

- 業務専用リモコン操作器（一斉制御方式形名：AAR-100）は1台接続できますが、非常用リモコン操作器は接続できません。

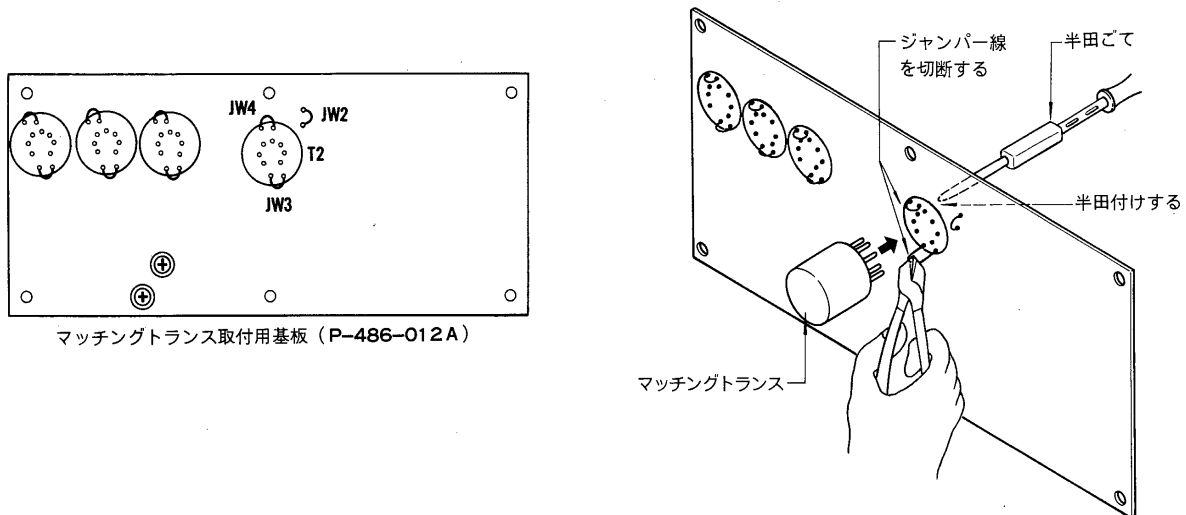


リモコン操作器

## ■本体のリモコン入力は不平衡形になっています。

本体、リモコン操作器間の距離が長いときは、別売のマッチングトランス（FB-1342）により入力回路を平衡回路にしてください。

別売のマッチングトランス（形名FB-1342）を図のようにマッチングトランス取付用基板（基板番号P-486-012A）に差し込み、半田付をした後、部品面のジャンパー線2本（JW3, JW4）をニッパー等で切断してください。



マッチングトランス取付用基板（P-486-012A）

- リモコン入力回路はジャンパー線（JW2）を切断することにより、入力レベルインピーダンスを変更することができます。

	ジャンパー線（JW2）切断後	ジャンパー線（JW2）切断前
入力レベル	+20 dB	0 dB
インピーダンス	5 kΩ	600 Ω

- アンプとリモコン操作器間の延長可能距離

距離	100 m 以下	300 m 以下
制御線	φ0.8mm	φ1.2mm
シールド線	φ0.35mm	

# TOSHIBA

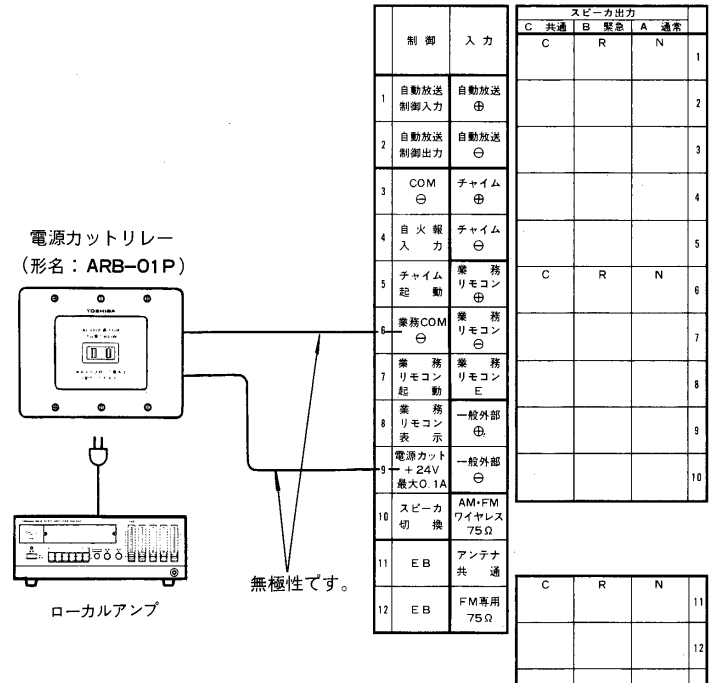
## ■自動火災報知機との接続

- 本機は自火報と併設してご使用ください。自火報と連動させる場合は「連動一斉」となります。



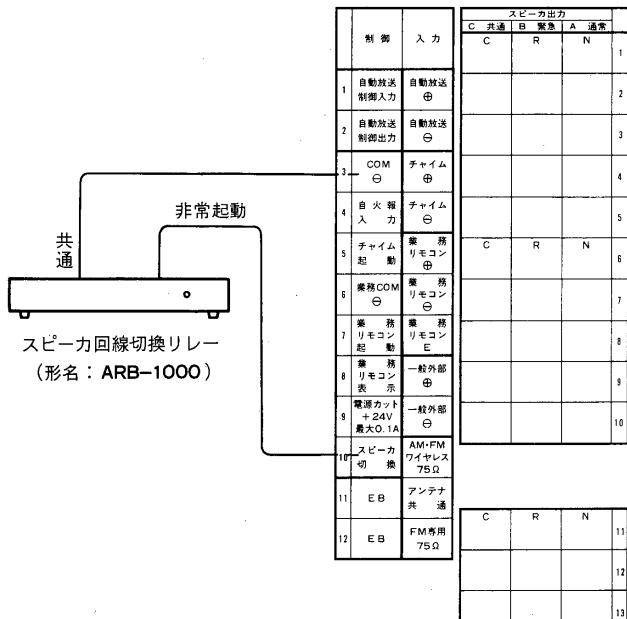
## ■電源カトリレーの接続

- 本機は非常放送時にローカルアンプの電源を制御(カット)するための端子を装備しています。
- 電源カトリレー(形名: ARB-01P)は2台まで接続できます。



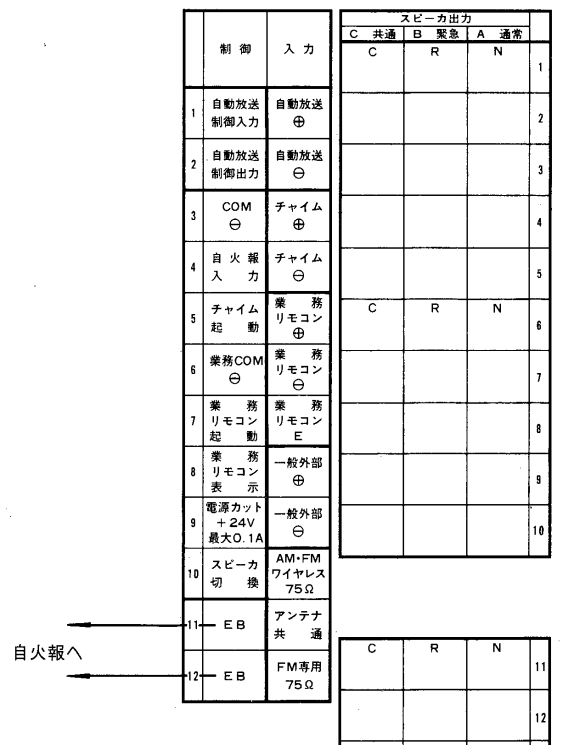
## ■スピーカ回線切替リレーの接続

- 本機はスピーカ回線切替リレー(形名: ARB-1000)を接続するための端子を装備しています。



## ■EB端子の接続

- 本機は非常放送時(非常用マイク①による非常放送)に自動火災報知機に接続された地区ベルを停止させるためのEB端子を装備しています。



## ユニット(別売)の取付けかた

■本機は別売のユニットを組み込んで使用することができます。

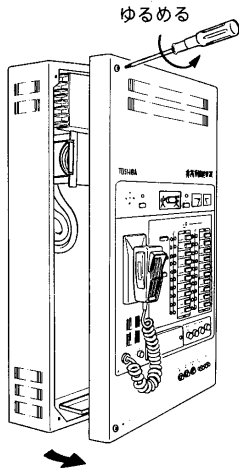
組み込み可能なユニットは次の3機種です。

AMラジオチューナユニット (形名: ARU-2100A)

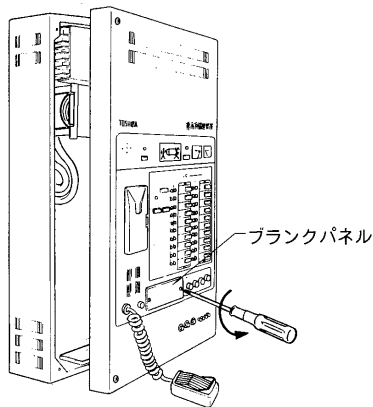
AM・FMラジオチューナユニット (形名: ARU-2100AF)

### ■取付けかた

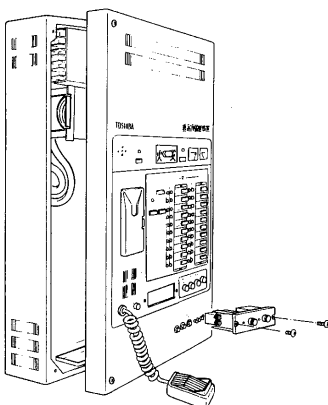
①操作パネルを固定しているねじ2本をゆるめ、操作パネルを開けます。



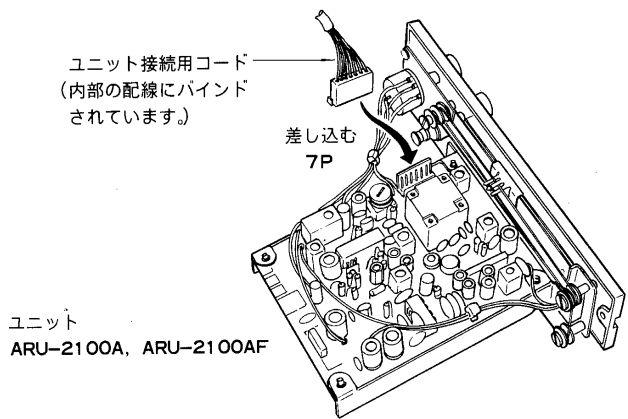
②本体のユニット収納部はブランクパネルでカバーされています。このブランクパネルを止めているねじ2本をドライバーではずしてください。



③ユニットを本体のユニット収納部に差し込み、ねじ2本で本体パネルに固定してください。

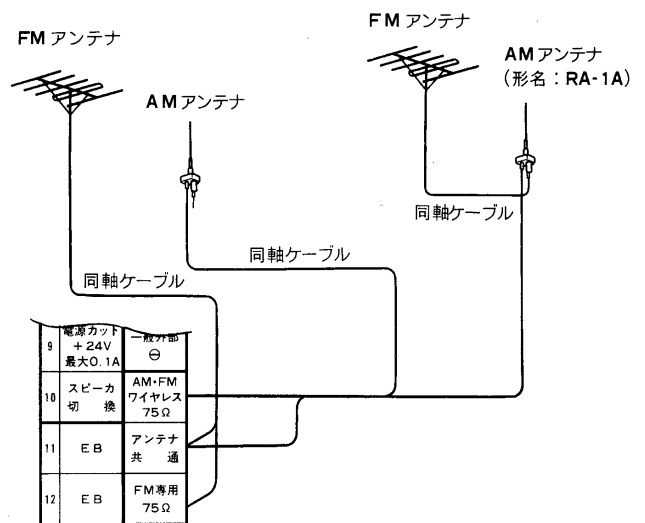


④本体内部の配線にバインドされている1本の接続用コード(7P)で本体、ユニット間を接続してください。



ユニット  
ARU-2100A, ARU-2100AF

⑤アンテナを接続してください。



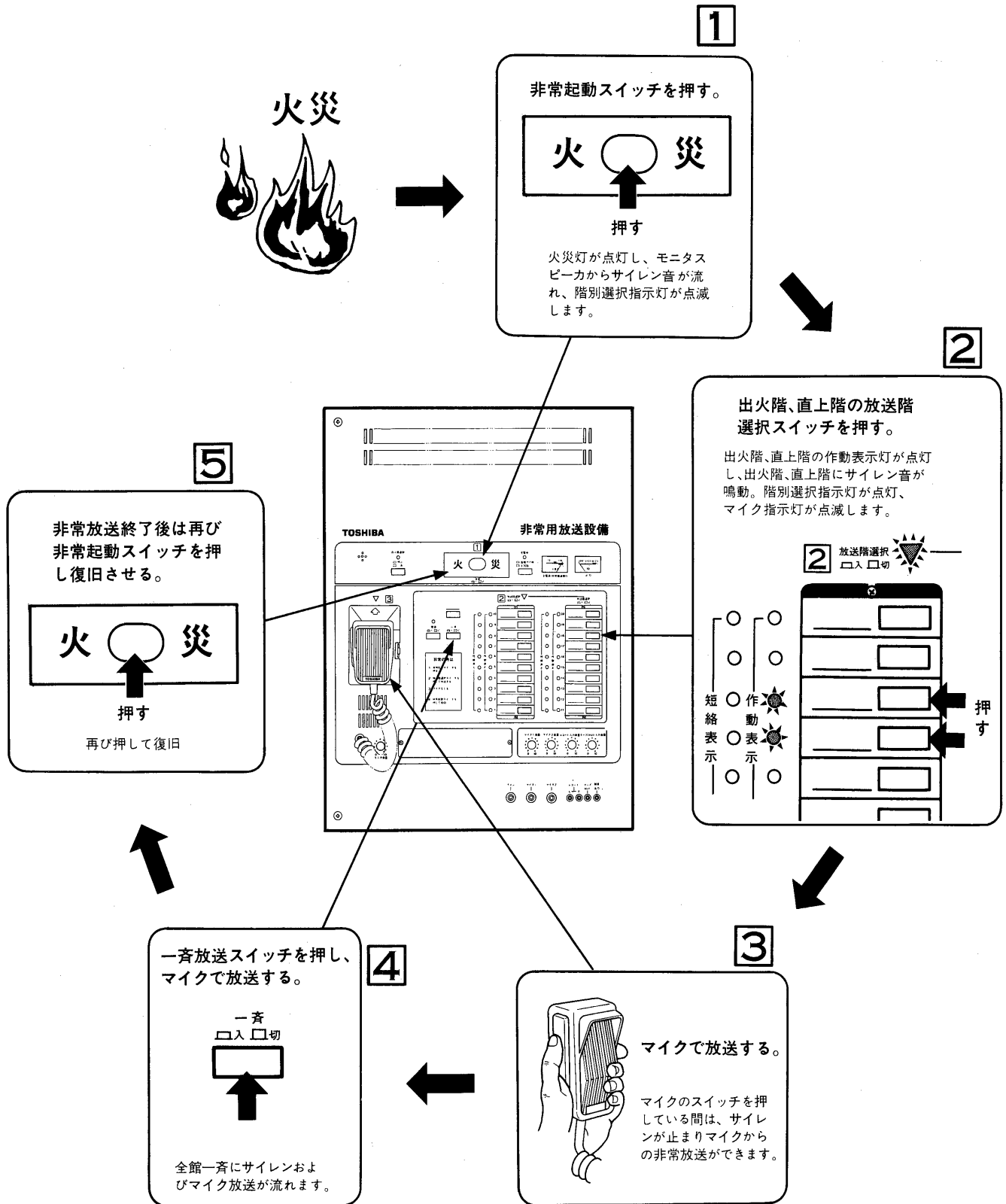
### ご注意

チューナユニットにはアンテナはありません。  
チューナユニットを取付ける場合はあらかじめアンテナを配線してください。

## 非常放送のしかた

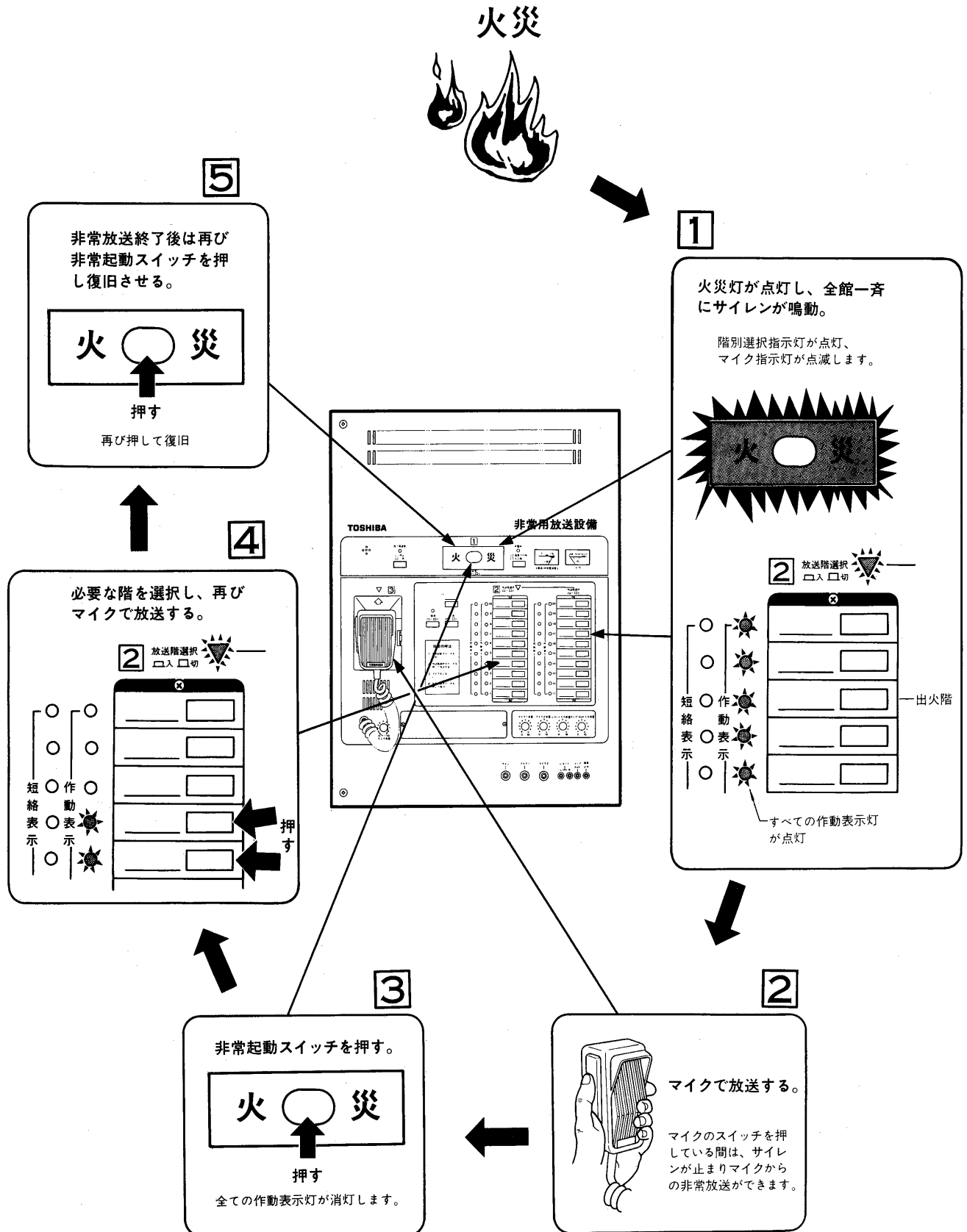
### ■手動

→ 操作の手順を示します。



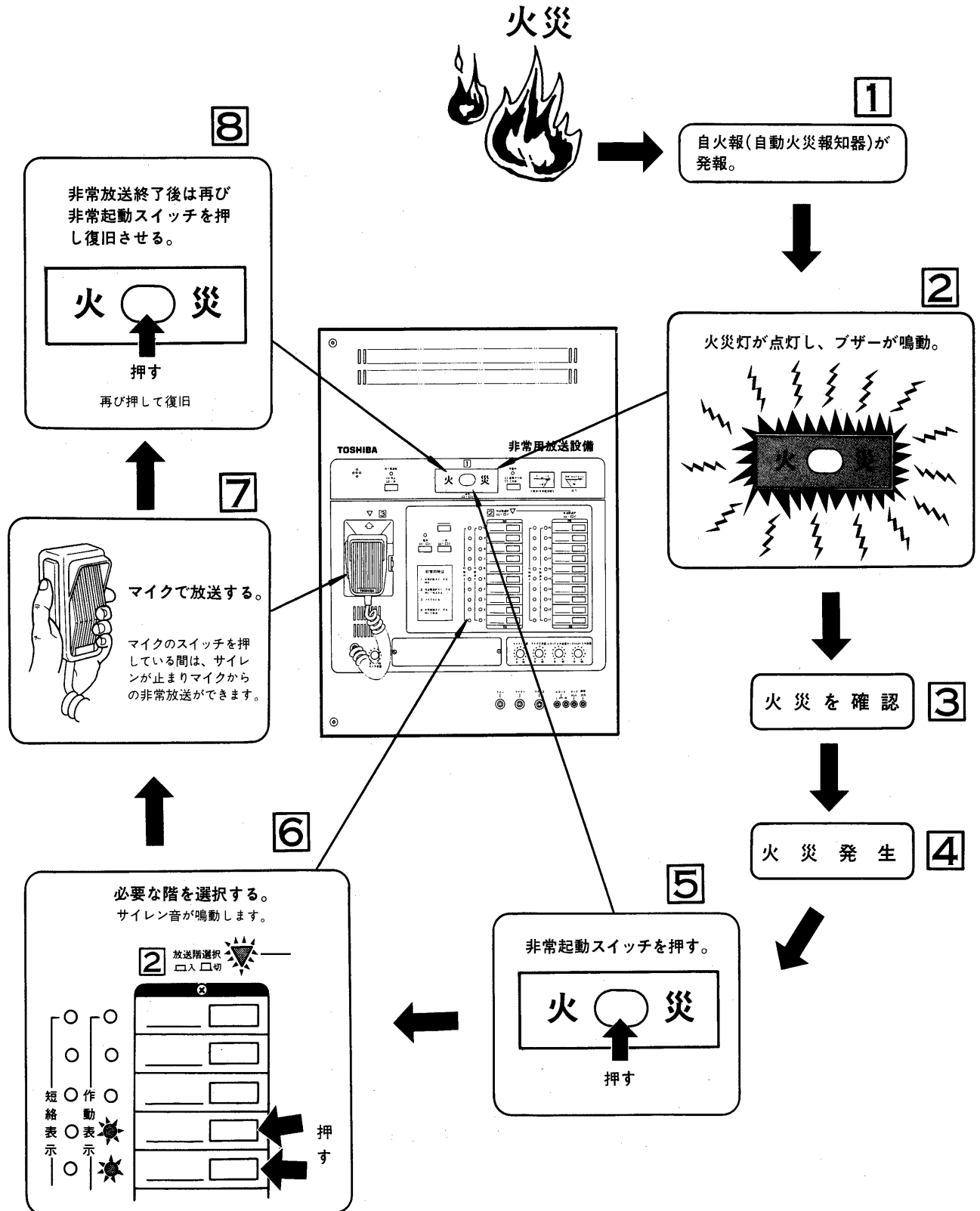
## ■連動一斉

- 自火報連動停止スイッチを「連動一斉」にします。
- ➔操作の手順を示します。



## ■ 連動停止

- 自火報連動停止スイッチを「連動停止」にします。
- ➔ 操作の手順を示します。

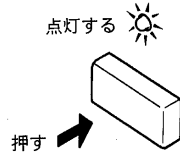




## 業務放送のしかた

### ■準備

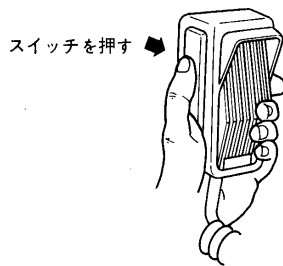
- すべてのスイッチが「切」の位置になっていることを確かめ、また、各音量調節つまみが「左いっぱいになった」位置にあることを確かめてください。
- 電源スイッチ⑤を押して「入」にしてください。電源表示灯⑦が点灯し、電源が入ります。



### ■操作のしかた

#### ●非常、一般業務放送兼用マイクロホン①を使用するとき

- マイクを外し、スイッチを押しながら放送してください。



#### ●マイクロホンを使用するとき

- マイク入力ジャック⑳㉑にマイクロホンをつなぎます。このとき使用するマイクロホンは、インピーダンス  $200\Omega \sim 50\text{k}\Omega$  のものをお使いください。(平衡形マイク、不平衡形マイクどちらでも使用できます。)
- マイク音量調節つまみ㉓㉔をゆっくり右にまわし、お好みの音量に調節してください。

#### ●テープデッキ(カセットテープデッキ、オープンデッキ)レコードプレーヤ等の外部機器を使用するとき

- 外部機器を使用するときは、テープ/AUX入力ジャック㉒レコード入力ジャック㉗㉘を使用してください。
- 外部機器を動作させ、外部機器の音量調節つまみか、テープ/AUX音量調節つまみ㉑レコード入力音量調節つまみ㉔でお好みの音量に調節してください。
- レコードプレーヤのカートリッジには主としてMM形とクリスタル形(またはセラミック形)の2種があります。レコード入力はMM形に特性が合せてあります。MM形カートリッジを使用したレコードプレーヤをご使用ください。

#### ●放送内容を録音するとき

- 本機の録音出力ジャック㉙をテープレコーダの「ライン入力(LINE IN)」に接続してください。
- テープレコーダの録音レベル調節器で最適レベルに調節しながら録音してください。

#### ●別売の組み込みユニットの使いかた

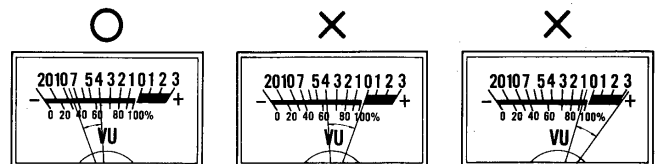
- 別売ユニットを組み込んでご使用のときは、ユニットに付属の取扱説明書をご参照ください。

#### ●ICチャイムの使いかた

- 本機は放送前の予告音用として別売のICチャイムユニット(CH-2, ACU-4020A)を組み込むことができます。
- 取付け方法は「接続のしかた」をご参照ください。
- ICチャイムスイッチ⑥を一度押しますとチャイム音が放送されます。
- チャイム音を続けて放送する場合は、ボタンから一度指を離しチャイム音が鳴り終わってから約2~3秒たって、もう一度チャイムスイッチ⑥を押してください。

#### ●モニタのしかた

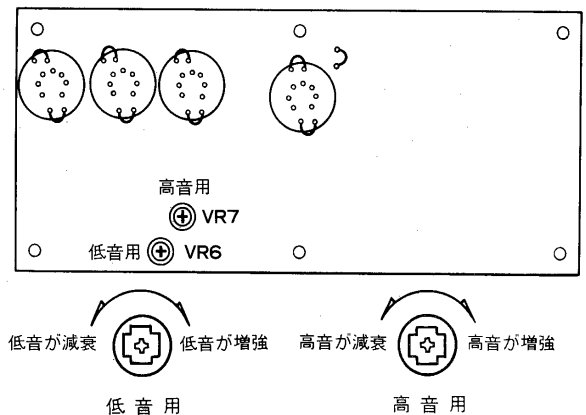
- 本機にはモニタスピーカが内蔵されています。モニタ音量調節つまみ㉓で必要に応じて調節してください。
- 非常、一般業務放送兼用マイクロホン①のマイク放送スイッチ②を押すとモニタスピーカの音が切れハウリングを防止します。
- 放送の出力に応じて出力レベルメータ⑬の指針がふれます。メータの指針のふれが「最適出力」となるよう音量調節つまみで調節してください。



#### ●音質調整のしかた(半固定)

- 音質調整つまみは右にまわすと増強され左にまわすと減衰します。
- 用途に応じて最適な音質になるように調整してください。

マッチングトランス取付用基板(P-486-012A)



- 放送終了後は再び階別選択スイッチ⑳を押して戻した後に、電源スイッチ⑤を再び押して元に戻してください。

## 放送の優先順位について

■本機の放送の優先順位は出荷時、次のようにセットされています。

1	非常放送
2	チャイム放送 リモコン放送
3	一般放送 (マイク1、マイク2、レコード、 テープ/AUX、ライン、一般外部、ユニット)

本体からのハンドマイクによるアナウンス放送は全ての放送にミキシングされます。

■放送の優先順位の変更について

●マッチングトランス取付用基板 (P-486-012A) のジャンパー線 (JW11) をニッパー等で切断しますと、優先順位を次のように変更することができます。

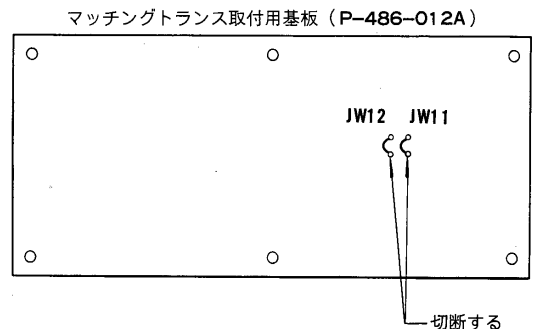
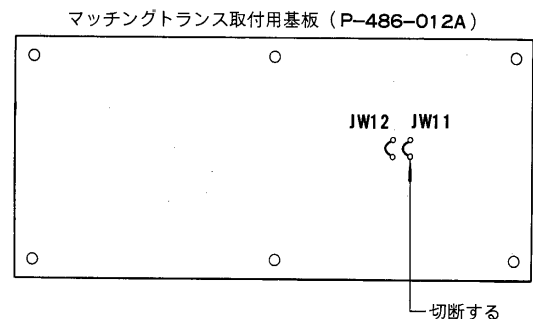
1	非常放送
2	チャイム放送
3	リモコン放送 一般放送 (マイク1、マイク2、レコード テープ/AUX、ライン、一般外部、ユニット)

本体からのハンドマイクによるアナウンス放送は全ての放送にミキシングされます。

●マッチングトランス取付用基板 (P-486-012A) のジャンパー線 (JW11、JW12) をニッパー等で切断しますと、優先順位を次のように変更することができます。

1	非常放送
2	チャイム放送
3	リモコン放送
4	一般放送 (マイク1、マイク2、レコード テープ/AUX、ライン、一般外部、ユニット)

本体からのハンドマイクによるアナウンス放送は全ての放送にミキシングされます。



## 保守点検のしかた (保守点検者の方へ)

非常用放送設備の保守点検は有資格者 (消防設備士、第2種消防設備点検資格者) でなければ行なえませんのでご注意ください。

### ■非常用バッテリーの交換について

- バッテリーチェックスイッチでチェックしてください。非常電源電圧計の指針が20~30V線の目盛のほぼ中央から上限までの間に振れることを確認してください。この範囲内に振れないときは、すぐに交換してください。
- 非常用バッテリーの標準寿命は4年です。非常時に機器を正しく動作させるために交換時期を守ってください。

充電中は点灯します

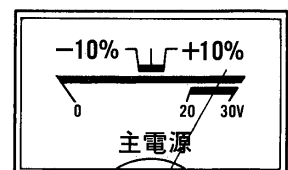
充電中



点検  
主回路



押して蓄電池点検



主回路/非常電源電圧

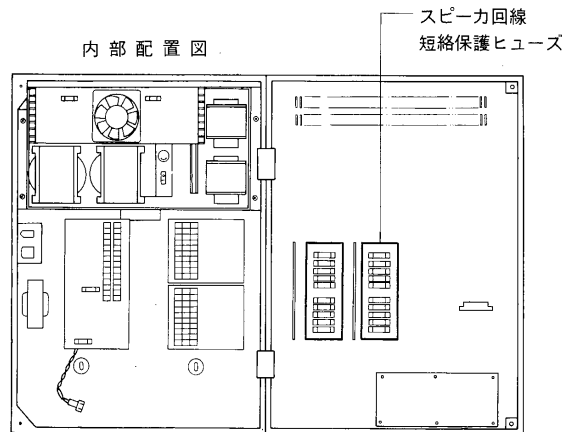
# TOSHIBA

## ■スピーカ回線短絡保護ヒューズの交換のしかた

- スピーカ回線保護ヒューズが動作しますと、短絡表示灯が赤色に点灯します。ヒューズが作動した原因をつきとめてからヒューズを交換してください。

### ご注意

ヒューズは指定容量（接続のしかた・内部配置図参照）のものとお交換してください。容量が違っていると、スピーカ回線が短絡してもヒューズが切れないことがあります。



## 修理サービス

ご使用中に異常が生じたときは、お買いあげの販売店またはお近くの東芝お客様ご相談センターにご相談ください。なお、ご相談されるときは機器の形名およびお買いあげ時期をお忘れなくお知らせください。

## 仕様

<b>使用電源</b> 常用：AC100V 50/60Hz 非常用：DC24V		<b>ミキサー</b> 入力レベル -20dB S/N比 65dB以上 入力インピーダンス 10kΩ 不平衡		<b>外部制御端子</b> 非常起動入力 (メーク) 運動一斉時：非常一斉 停止時：フザー チャイム制御入力 (メーク) 電源起動 (メーク) 回線一斉選択 (メーク) リモコン制御入力 (業務) 電源起動 (メーク) 回線一斉選択 (メーク) 非常接点出力 電源カットリレー用：+24V送り出し 地区ベル制御 (EB)：メーク接点送り出し スピーカ回線切替：メーク接点送り出し	
<b>定格出力</b> AWH-610D 60W AWH-1210D 120W AWH-1215D 120W AWH-2420D 240W		<b>自動アナウンス入力</b> 入力レベル 0dB S/N比 55dB 入力インピーダンス 10kΩ 不平衡		<b>寸法</b> 460(幅)×600(高さ)×150(奥行)	
<b>消費電力</b> 機種名 定格出力時 AWH-610D 75W 165W AWH-610D 120W 305W AWH-1215D 123W 308W AWH-2420D 210W 560W		<b>録音出力</b> 出力レベル 0dB 負荷インピーダンス 10kΩ以上 不平衡		<b>重量</b> (ユニットバッテリーは除く) AWH-610D 約20kg AWH-1210D 約22.5kg AWH-1215D 約23kg AWH-2420D 約29kg	
<b>周波数特性</b> 50~15000 Hz ±3dB <b>ひずみ率</b> 1%以下 <b>音質調整</b> 低：100Hz ±10dB (1kHz基準) 高：10kHz ±10dB (1kHz基準)		<b>非常用マイク入力</b> 入力レベル -46dB 入力インピーダンス 600Ω (一般アナウンスと兼用) 周波数特性 300~8000Hz ±3dB 歪率 1%以下 S/N比 50dB以上		<b>仕上り</b> ストーンアイボリー (マンセル4.8Y7.9/1近似色) 一部アースブラウンシルク印刷 (マンセル8YR2.5/0.5近似色)	
<b>マイク1入力 (音量調節器付)</b> 入力レベル -64dB S/N比 50dB以上 入力インピーダンス 600Ω 不平衡 (平衡可)		<b>サイレン周波数</b> 400~1000Hz 約5秒の繰返し (非常用放送設備(委)統一音)		<b>組み込み適合ユニット</b> ARU-2100A, ARU-2100AF	
<b>マイク2入力 (音量調節器付)</b> 入力レベル -64dB S/N比 50dB以上 入力インピーダンス 600Ω 不平衡 (平衡可)		<b>出力レベル</b> VU計 <b>モニタスピーカ</b> 出力0.3W 8Ωアッテネータ付 ハウリング防止回路付		<b>付属品</b> AWH-610D AWH-1210D AWH-1215D AWH-2420D 大形単頭プラグ (6.3φ, 3P) ..... 1 ピンプラグ ..... 2 取付用型紙 ..... 1 取扱説明書 ..... 1 操作説明書 ..... 1 東芝お客様ご相談センター一覧表 ..... 1	
<b>レコード入力 (音量調節器付)</b> 入力レベル -56dB S/N比 55dB以上 入力インピーダンス 50kΩ 不平衡 RIAA		<b>動作表示</b> 選局時階別作動表示灯 (緑色ダイオード) 点灯 <b>短絡表示</b> 短絡時短絡表示灯 (赤色ダイオード) 点灯(音声同期)		<b>制御回路</b> 機種名 放送階選択 AWH-610D 10回線 + 一斉 AWH-1210D 10回線 + 一斉 AWH-1215D 15回線 + 一斉 AWH-2420D 20回線 + 一斉	
<b>テープ/AUX入力 (音量調節器付)</b> 入力レベル -20dB S/N比 65dB以上 入力インピーダンス 10kΩ 不平衡		<b>※電力増幅部</b> 50Hz~15000Hz 周波数特性 1000Hz基準 ※建設省規格1級に適合 ひずみ率 1%以下 (1000Hzにて) S/N比 80dB以上		<b>ヒューズ</b> ヒューズ ヒューズ ヒューズ ヒューズ 0.5A...11 0.5A...1 0.5A...1 0.5A...1 3A...1 0.8A...10 0.8A...15 0.8A...20 5A...2 4A...1 4A...1 10A...1 10A...1 7A...2 7A...2 15A...3 10A...1 10A...1 10A...1	
<b>チャイム入力</b> 入力レベル -30dB S/N比 65dB 入力インピーダンス 10kΩ 不平衡		<b>負荷インピーダンス</b> 60W 170Ω (100Vライン) 83Ω (70Vライン) 83Ω (100Vライン) 120W 42Ω (70Vライン) 42Ω (100Vライン) 240W 21Ω (70Vライン) 21Ω (70Vライン)		<b>表示カード</b> 10回線用...1 表示カード 10回線用...1 表示カード 5回線用...1 表示カード 10回線用...1	
<b>ライン入力</b> 入力レベル -20dB S/N比 65dB以上 入力インピーダンス 10kΩ/600Ω 不平衡 (平衡可)		<b>非常電源部</b> 機種名 品番 容量 AWH-610D NBT-2000 (別売) 1.65Ah/5HR AWH-1210D NBT-3000 (別売) 3.5Ah/5HR AWH-1215D NBT-3000 (別売) 3.5Ah/5HR AWH-2420D NBT-4000 (別売) 6.0Ah/5HR 充電方式 ニッカド蓄電池：トリクル充電		●業務用リモコン操作器 (形名：AAR-100) が1台接続できます。 ●電源カットリレー (形名：ARB-01P) は2台まで接続できます。 ●チャイムユニット (形名：CH-2, ACU-4020A) が組込めます。	
<b>リモコン入力 (業務)</b> 入力レベル 20/0dB S/N比 65dB以上 入力インピーダンス 5kΩ/600Ω 不平衡 (平衡可)					
<b>一般外部入力</b> 入力レベル -20dB S/N比 65dB以上 入力インピーダンス 10kΩ 不平衡					

# TOSHIBA